

令和6年4月24日

山口県教育委員会会議議案

山口県教育委員会

議案

資料①

番号	件名	主管課	
1	令和6年度山口県教科用図書選定審議会に対する諮問について	義務教育課	p 2

報告事項

番号	件名	主管課	
1	令和6年度山口県公立高等学校入学者選抜のための学力検査実施状況について	高校教育課	p 6

議案第1号

令和6年度山口県教科用図書選定審議会に対する諮問について

このことについて、別紙のとおり諮問する。

令和6年(2024年)4月24日

山口県教育委員会

令 6 教 義 第 _____ 号

令和 6 年（2024年） 4 月 2 4 日

山口県教科用図書選定審議会長 様

山口県教育委員会

教科用図書の採択の基準及び選定に必要な資料について（諮問）

義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律（昭和 3 8 年法律第 1 8 2 号）

第 1 1 条第 1 項の規定に基づき、下記の事項について貴会の意見を問います。

については、5 月 2 1 日（火）までに答申願います。

記

- 1 義務教育諸学校における令和 7 年度使用教科用図書の採択の基準について
- 2 採択関係者に提示する令和 7 年度使用教科用図書の選定に必要な資料について

諮 問 事 項

1 義務教育諸学校における令和7年度使用教科用図書の採択の基準について

義務教育諸学校の教科用図書の採択権者は、県教育委員会の指導、助言又は援助によって採択することになるので、これらの採択に関する事務が適正かつ円滑に行われるために、県教育委員会は、次の事項に関し一般的な基準を示す必要がある。

- (1) 義務教育諸学校の教科用図書（一般図書を除く。）の採択について
- (2) 一般図書（特別支援学校・学級用）の採択について
- (3) 教科用図書の採択に当たり特に留意すべき事項について

2 採択関係者に提示する令和7年度使用教科用図書の選定に必要な資料について

(1) 今年度は、中学校の各教科の教科用図書について採択が行われる年であることから、諸種の角度から総合的に研究調査し、その特徴等を簡潔に叙述した「選定資料」を作成しなければならない。

したがって、次の事項について明らかにする必要がある。

- ① 「選定資料」を作成するにあたっての研究調査の観点について
- ② ①の各観点における研究調査の結果について

(2) 一般図書（特別支援学校・学級用）は、文部科学省から示されている「令和6年度用一般図書契約予定一覧」に掲載された図書及び令和5年度に山口県で多く採択された図書のうち、近年研究調査されていないものの一部を対象に調査する。

対象とした一般図書について、諸種の角度から総合的に研究調査し、その特徴等を簡潔に叙述した「選定資料」を作成しなければならない。

したがって、次の事項について明らかにする必要がある。

- ① 「選定資料」に掲載する一般図書及びその内容による分野について
- ② 「選定資料」を作成するにあたっての研究調査の観点について
- ③ ②の各観点における研究調査の結果について

義務教育諸学校で使用する教科用図書の採択について

1 義務教育諸学校で使用する教科用図書の種類

- (1) 文部科学省検定済教科用図書（検定本） →→→学校教育法第34条等により使用の義務
- (2) 文部科学省著作教科用図書（いわゆる星本） →→学校教育法第34条等により使用の義務
- (3) (1)(2)以外の一般図書（特別支援学校・学級用）
 - ・特別支援学校及び特別支援学級等において適切な教科書がないときに使用が許される。
 - 通常、知的障害などのための特別な教育課程を編成する児童生徒に対して使用され、絵本などが選ばれることが多い。

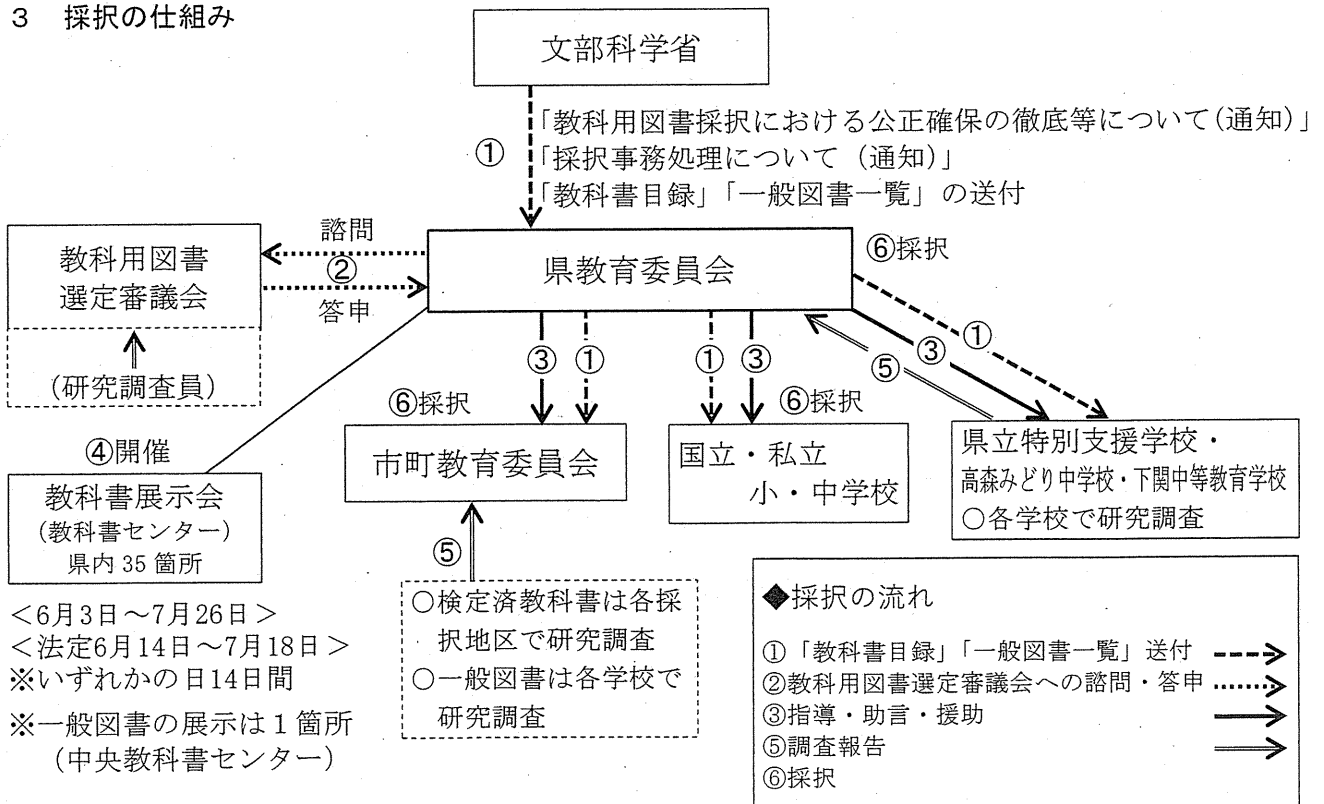
◎:検定 △:採択 ○:使用開始

学校 種別等区分	年度	2013 H25	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7
		小学校	検定	◎			道徳◎	◎	新◎				◎	
	採択		△			道徳△	△	新△				△		
	使用開始			○			道徳○	○	新○				○	
中学校	検定		◎			道徳◎	◎	新◎				◎		
	採択			△			道徳△	△	新△	(△歴史)			△	△ (新設校)
	使用開始				○			道徳○	○	新○				○

2 教科用図書の採択替え

- (1) 検定本・・・4年に一度
- (2) 一般図書・・・毎年（児童生徒の状況に応じて適切な教科書を選ぶため）
- (3) 採択の周期 ※一般図書を除く

3 採択の仕組み



4 採択権者について（上図⑥）

- * 市町立小・中学校・・・学校を設置する市町教育委員会
- * 県立特別支援学校・・・県教育委員会
- * 県立高森みどり中学校・下関中等教育学校・・・県教育委員会
- * 国立・私立小・中学校・・・各学校の校長

報告事項 1

令和6年度山口県公立高等学校入学者選抜のための学力検査実施状況について

高校教育課

1 学力検査について

- (1) 実施日時 令和6年3月6日(水) 午前9時から午後3時まで
- (2) 実施教科 国語、社会、数学、理科及び英語
- (3) 実施時間 各教科とも50分
- (4) 配点 各教科50点満点

2 学力検査得点状況について

- (1) 教科別の平均点 国語 31.5点、社会 24.5点、数学 23.1点、
理科 26.8点、英語 26.6点
- (2) 「得点の合計」の平均点 132.4点(最高点 234点)
- (3) 「得点の合計」の分布状況 別紙のとおり

※ 入学者選抜実施状況については、別紙のとおり

3 学力検査の結果について

別紙のとおり

令和6年度山口県公立高等学校入学者選抜のための学力検査得点状況

1 受検者数及び教科別得点状況

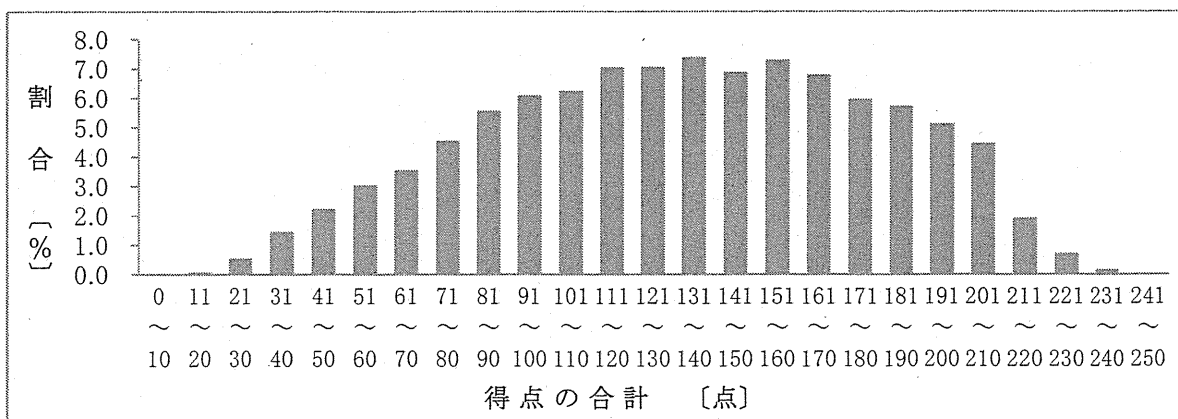
受検者数	5,790 (6,025)					
教科名	国語	社会	数学	理科	英語	得点の合計
平均点	31.5 (27.1)	24.5 (27.1)	23.1 (21.6)	26.8 (24.5)	26.6 (25.6)	132.4 (125.8)
最高点	48 (46)	50 (49)	50 (49)	50 (50)	49 (50)	234 (232)
最低点	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (2)	8 (7)

- 注1 全教科を受検した者について集計したものである。
 注2 各教科とも50点満点、「得点の合計」は250点満点である。
 注3 ()内の数値は、昨年度のものである。

2 「得点の合計」の分布状況

得点範囲 [点]	人数 [人]	割合 [%]
241 ~ 250	0	0.0
231 ~ 240	9	0.2
221 ~ 230	41	0.7
211 ~ 220	111	1.9
201 ~ 210	258	4.5
191 ~ 200	297	5.1
181 ~ 190	332	5.7
171 ~ 180	346	6.0
161 ~ 170	394	6.8
151 ~ 160	423	7.3
141 ~ 150	399	6.9
131 ~ 140	428	7.4
121 ~ 130	409	7.1
111 ~ 120	408	7.0
101 ~ 110	362	6.3
91 ~ 100	353	6.1
81 ~ 90	323	5.6
71 ~ 80	263	4.5
61 ~ 70	206	3.6
51 ~ 60	176	3.0
41 ~ 50	129	2.2
31 ~ 40	85	1.5
21 ~ 30	32	0.6
11 ~ 20	4	0.1
0 ~ 10	2	0.0
合計	5,790	100

注 割合は、小数第2位を四捨五入したものである。



令和6年度山口県公立高等学校入学者選抜

学力検査の結果の概要及び今後の学習指導に向けて

令和6年4月

山口県教育委員会

令和6年度山口県公立高等学校入学者選抜のための 学力検査の結果について

1 出題の概要

令和6年度の学力検査の出題については、中学校教育の充実と発展に資するよう、中学校学習指導要領(平成29年告示)に準拠しつつ、以下のとおりとした。

- 学習の到達の状況を把握するため、総合的に学力をみることができるよう、基礎的・基本的な内容と応用的な内容について均衡を図って出題した。
- 知識及び技能の習得状況を適切に測る内容を出題するとともに、知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を測る内容を重視した問題を出題した。

2 結果の総評

- 各教科とも基礎的・基本的な事項に関する問題については、一部に課題もみられたが、おおむね平素の学習の成果が表れていた。
- 表やグラフなどの資料から必要な情報を読み取る問題については、おおむねできており、学習の成果が表れていたが、読み取った情報を活用して適切に表現する力をみる問題や、論理的に考えたり柔軟に思考したりする力をみる問題については、更に努力が必要な状況がみられた。
- 今後とも、学習内容と日常生活を関連付けるなど、学ぶことの意義や有用性を実感できるような学習活動の充実を通して、学習に対する興味・関心を高め、主体的に学習に取り組む態度を養うことが大切である。また、主体的・対話的で深い学びの実現により、知識及び技能の確実な定着を図るとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育成することが重要である。

国語

1 出題の特徴

- 国語に関する基礎的・基本的な力をみるとともに、文章の種類を踏まえて、登場人物の心情や筆者の主張、物語や論理の展開の仕方などを適切に捉える力をみる問題を出題した。
- 複数の文章や図表などを結び付けながら内容を適切に解釈し表現する力をみるとともに、国語に関する知識及び技能を実生活の場面で活用する力をみる問題を出題した。
- 作文の問題について、目的や意図に応じて必要な材料を集め、根拠を明確にししながら、自分の考えを分かりやすく伝える力をみる問題を出題した。

2 結果の概要

- 登場人物の心情の変化や論理の展開を的確に読み取り、適切に表現する力をみる問題はいま一步であったが、基礎的・基本的な知識及び技能に関する問題については良好であった。
- 文章と図表などを結び付け、適切に内容を解釈し表現する力をみる問題は、文章と図表との関連を適切に解釈することができておらず、いま一步であった。
- 作文については、必要な材料を集めて根拠を明確にししながら表現することができていないものがみられ、いま一步であった。

3 課題がみられた問題例

《問題例①》

二 〈問題文は、源河亨「美味しい」とは何かから。ここでは省略〉

六 段落が文章中で果たしている役割の説明として最も適切なものを、次の1～4から選び、記号で答えなさい。

- 1 これまでの内容を整理して、「経験の価値」と「対象の価値」の共通点と相違点を解説している。
- 2 これまでの内容に加えて、「経験の価値」が「対象の価値」に与える影響について考察している。
- 3 これまでの内容をまとめて、「経験の価値」と「対象の価値」の優劣について明確に述べている。
- 4 これまでの内容を受けて、「経験の価値」が「対象の価値」に含まれていることを証明している。

正答例 2

【解答の状況】

文章全体と部分との関係に注意して正確に内容を読み取ることができていないと思われる解答が多くみられた。

【課題】

文章全体と部分との関係に注意して、正確に内容を読み取ること。

《問題例②》

- 【四】 〈ある中学校の生徒が、近隣の幼稚園を訪問して、園児と行う交流活動の内容について資料を基に話し合う場面を想定。ここでは省略〉

【話し合いの様子】 ※ 一部を抜粋

Cさん せっかくなので、園児にいろいろな経験をしてもらうために、他のクラスとは異なる活動にしたいですね。

Aさん それでは、「お絵かき」を発展させて、言葉遊びもできる「かるたづくり」はどうでしょう。

Bさん いいアイデアですね。「かるたづくり」なら、交流活動後に、作ったかるたで園児が遊んだり、大判用紙に貼って飾ったりすることもできるので、**データ2**を踏まえた活動にもなっていますね。

司会者 つまり、「かるたづくり」は、ということですね。

- (ロ) 【話し合いの様子】の に入る適切な内容を、文脈に即して四十文字以内で答えなさい。

正答例 他のクラスが行っていない創作活動であるうえに、交流活動の記念になるものを残せる

【解答の状況】

【話し合いの様子】の展開を踏まえて、CさんとBさんの発言と【資料】を結び付け、内容を解釈することができていない解答が多くみられた。

【課題】

文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈し、適切に表現すること。

4 今後の学習指導に向けて

○ 文章の展開に即して内容を正確に理解する力の育成

言語活動を通して、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えたり、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価したりして、文章の内容を正確に理解することができるようにするとともに、文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈できるようにする。

○ 適切に表現する力、自分の考えを伝える力の育成

文章の内容を要約したり、自分の考えをまとめたりする活動に加えて、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、根拠を明確にしながら、その内容をわかりやすく伝えられるように文章の構成や表現の仕方を工夫できるようにするとともに、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えることができるようにする。

○ 言語感覚を豊かにし、思考力や想像力を養う活動の充実

伝統的な言語文化に親しんだり、読書をしたりすることによって自分の生き方や社会との関わり方を考えながら言語感覚を豊かにするとともに、日常の言語活動を振り返り、実際に「話す」「聞く」「書く」「読む」場面を学習の中で意識したり、人との関わりの中で伝え合う力を高めたりして、思考力や想像力を養う。

社 会

1 出題の特徴

- 社会的事象に関する基礎的・基本的な知識や概念の理解、技能の習得状況をみる問題を出題した。
- 知識及び技能を活用して、多様な資料から情報を読み取り、適切に表現する力をみる問題を出題した。
- 複数の資料を用いて、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連について多面的・多角的に考察する力をみる問題を出題した。

2 結果の概要

- 社会的事象に関する基礎的・基本的な知識や概念の理解、技能の習得状況をみる問題については、一部に課題もみられたが、おおむねできていた。
- 知識及び技能を活用して、多様な資料から情報を読み取り、適切に表現する力をみる問題については、必ずしも十分とはいえなかった。
- 複数の資料を用いて、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連について多面的・多角的に考察する力をみる問題については、いま一歩であった。

3 課題がみられた問題例

《問題例①》

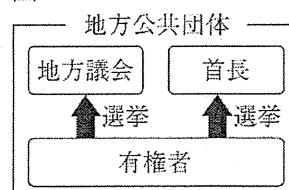
5 (略)

(3) (略)

イ 図 I は、地方公共団体の地方議会の議員と首長の選出方法を模式的に表したものである。地方公共団体の首長は、有権者による選挙によって選ばれるのに対し、内閣総理大臣はどのようにして選ばれるか。

「有権者」と「指名」という二つの語を用いて説明しなさい。

図 I



正答例 内閣総理大臣は、有権者が選んだ国会議員からなる国会の議決によって指名される。

【解答の状況】

「内閣総理大臣は、有権者の指名によって選ばれる」など、政治制度に関する理解が十分ではないと思われる解答がみられた。

【課題】

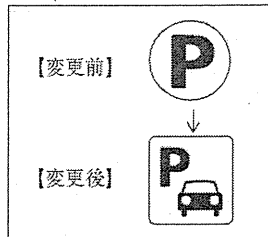
基礎的・基本的な知識や概念を確実に理解すること。

《問題例②》

6 (略)

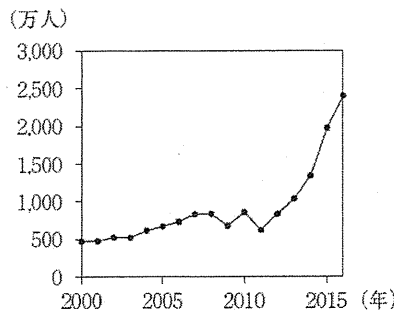
(2) 下線部①について、図Ⅰのように案内用図記号を国際規格に合わせて変更した目的を、図Ⅱ、図Ⅲから読み取れることと関連付けながら、説明しなさい。

図Ⅰ 変更前後の駐車場の案内用図記号



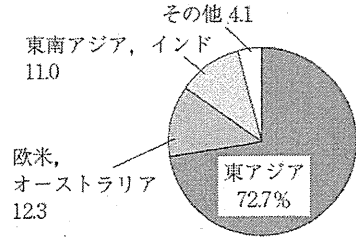
(経済産業省資料により作成)

図Ⅱ 訪日外国人数の推移



(日本政府観光局資料により作成)

図Ⅲ 訪日外国人の地域別の割合 (2016年)



(注) 割合は、小数第二位を四捨五入してあるため、合計が100.0%にならない。

(日本政府観光局資料により作成)

正答例 訪日外国人が急増したことから、言語の違いに関わらず、誰もが案内用図記号を理解できるようにすること。

【解答の状況】

資料から必要な情報を適切に読み取れていない解答や、複数の資料を相互に関連付けて考察することができていない解答、考察したことを適切に表現できていない解答がみられた。

【課題】

複数の資料から読み取れることを相互に関連付けて考察し、適切に表現すること。

4 今後の学習指導に向けて

○ **基礎的・基本的な知識の理解を促す学習活動の充実**

基礎的・基本的な知識を確実に習得しながら、既習の知識と関連付けたり組み合わせたりしていくことにより、学習内容の深い理解と、個別の知識の定着を図るとともに、社会における様々な場面で活用できる、概念などに関する知識として獲得できるようにする。

○ **多様な資料から必要な情報を読み取り、まとめる力の育成**

地図、年表、写真、新聞、読み物、統計などの資料に平素から親しむとともに、目的に応じて必要な情報を読み取り、読み取った情報を適切にまとめる力を育成する。

○ **社会的事象について多面的・多角的に考察し、適切に表現する力の育成**

社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する力、課題の解決に向けて選択・判断する力、思考・判断したことを適切に表現する力を育成する。

数 学

1 出題の特徴

- 基礎的・基本的な内容について、概念や原理・法則などの理解及び事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能の習得状況をみる問題を出題した。
- 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見出し統合的・発展的に考察する力をみる問題を出題した。
- 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力をみる問題を出題した。

2 結果の概要

- 基礎的・基本的な知識及び技能の習得の程度をみる問題については、一部に課題もみられたが、おおむねできていた。
- 見出したことや思考の過程、判断の根拠などを数学的な表現を用いて論理的に考察する力をみる問題については、いま一步であった。
- 事象を論理的に考えたり、柔軟に思考したりしながら、数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現する力をみる問題については、いま一步であった。

3 課題がみられた問題例

《問題例①》

2 (略)

(4) ある池で50匹の魚をつかまえ、その全部に印をつけて池に戻した。数日後、同じ池で40匹の魚をつかまえたところ、印のついた魚が11匹いた。この数日の間に、この池にいる魚の数と、印のついた魚の数に変化がないとすると、この池にいる魚はおよそ何匹と推定されるか。一の位を四捨五入した概数で答えなさい。

正答 およそ180匹

【解答の状況】

標本調査の推定について理解が十分ではなく、正しく推定されていない解答が多くみられた。

【課題】

基礎的・基本的な内容について、概念や原理・法則などを理解し、事象を数学化する力を育成すること。

《問題例②》

8 (略)

(3) Tさんは、キャンプ場で使用する図1のような焚き火台を購入する予定である。

Tさんはその中に入れる薪を、図2のように井の字型に積もうと考えている。

焚き火台の底は図3のような正八角形 $ABCDEFGH$ の形をしていて、Tさんは、その正八角形の対角線 AD の長さを、焚き火台に入れる薪の長さの目安にしようとしている。

正八角形 $ABCDEFGH$ の一辺の長さを a cm とするとき、対角線 AD の長さを、 a を使った式で表しなさい。

図1

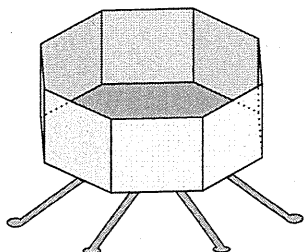


図2

井の字型に積んだ薪

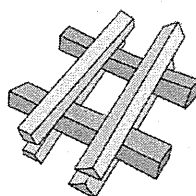
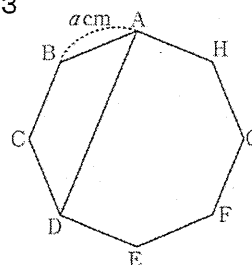


図3



正答

$$(1 + \sqrt{2})a \text{ (cm)}$$

【解答の状況】

正八角形の性質を見出していないため、三平方の定理を正しく用いることができていない解答が多くみられた。

【課題】

図形の性質を見出し、論理的に筋道を立てて考察すること。

4 今後の学習指導に向けて

○ **基礎的・基本的な概念や原理・法則を理解する力の定着**

データの活用を学習する際に、既習事項である相対度数や、ヒストグラム、確率の必要性和意味を学び直すことでデータの活用の理解を深めるなど、関連する内容を意図的に結び付け、基礎的・基本的な概念や原理・法則を理解する力の定着を図る。

○ **数学を活用して課題解決の過程を論理的に考察する力の育成**

根拠を明らかにし、筋道を立てて体系的に考えたり、説明し伝え合ったりする活動の充実を図ることで、言葉や数、式、図、表、グラフなどの相互の関連を考察する力を育成する。

○ **数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力の育成**

日常生活や社会における事象を数学と結び付けて考察したり処理したりする活動を通して、数学を利用することの必要性や意義を実感できるようにするとともに、柔軟に思考し、数学的に表現する力を育成する。

理 科

1 出題の特徴

- 自然の事物・現象について、基礎的・基本的な知識及び技能の習得状況、概念や原理・法則の理解の程度をみる問題を出題した。
- 見通しをもって観察、実験を行い、得られた結果を分析して解釈し、考察したことを適切に表現する力をみる問題を出題した。
- 日常生活や社会との関連を重視した科学的に探究する活動において、課題を解決する力や仮説の妥当性を検討したり考察したりする力をみる問題を出題した。

2 結果の概要

- 自然の事物・現象について、基礎的・基本的な知識及び技能の習得状況、概念や原理・法則の理解の程度をみる問題については、一部に課題もみられたが、おおむねできていた。
- 見通しをもって観察、実験を行い、得られた結果を分析して解釈し、考察したことを適切に表現する問題については、必ずしも十分とはいえなかった。
- 日常生活や社会との関連を重視した科学的に探究する活動において、課題を解決する力や仮説の妥当性を検討したり考察したりする力をみる問題については、いま一歩であった。

3 課題がみられた問題例

《問題例①》

5 (略)

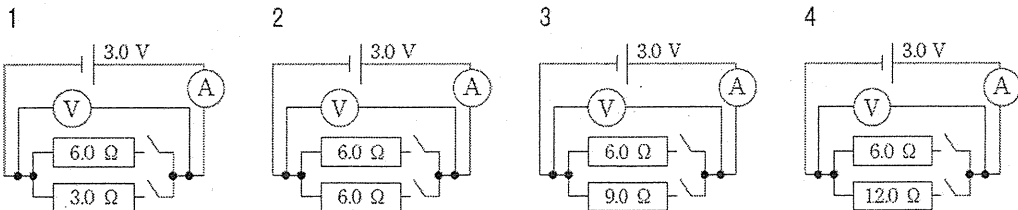
(2) Sさんは、実験後、T先生と次の会話をした。あとのア～ウに答えなさい。

(略)

T先生： よい気づきですね。この〔実験〕では、抵抗器を3つ使用していますが、(イ)抵抗器2つとスイッチを用いて回路全体の抵抗を変えることで、〔実験〕と同様に消費電力を1.5 W、3.0 W、4.5 Wと変化させる回路をつくることもできますよ。

(略)

ウ 下線(イ)を表した回路図として、最も適切なものを、次の1～4から選び、記号で答えなさい。



正答 1

【解答の状況】

「3」、「4」を選択するなど、合成抵抗や電力に関する知識を活用できていないと思われる解答が多くみられた。

【課題】

観察、実験などを行い、規則性や関係性を見出すとともに、その結果をもとに科学的に思考すること。

《問題例②》

9 (略)

[実験 2]

- ① pHが7.0の蒸留水と固体の水酸化ナトリウムを準備した。
② ①の蒸留水1000 gに①の水酸化ナトリウム4.0 gを加え、pHが13.0の液をつくった。
(略)

(4) 次の式が、[実験 2]の②でつくった、pHが13.0の液の質量パーセント濃度を求める式となるように、、に入る適切な数値を書きなさい。

$$\frac{\text{あ}}{\text{い}} \times 100 (\%)$$

正答 4 1004

【解答の状況】

「4/1000」、「1000/1004」、「1000/4」とするなど、溶液、溶質、溶媒の質量を[実験 2]中の操作から読み取れていないと思われる解答や、質量パーセント濃度の求め方が理解できていないと思われる解答が多くみられた。

【課題】

科学の基本的な概念を理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けること。

4 今後の学習指導に向けて

○ **科学の基本的な概念の形成を図る学習活動の充実**

自然の事物・現象を、質的・量的な関係や時間的・空間的な関係などの科学的な視点で捉え、比較したり、関係付けたりするといった科学的に探究する方法を用いて考えることを通して、科学の基本的な概念の形成を図る。

○ **観察、実験を中心に、探究の過程を通じた学習活動の充実**

自然の事物・現象に進んで関わり、課題を見出し見通しをもって観察、実験を行い、結果を分析して解釈するなど、探究の過程を通じた学習活動をより一層重視する。その際、話し合いなどの言語活動を充実させ、観察、実験で得られた結果を互いに共有するとともに、対話を通して多面的に考察し、表現する場面を設定する。

○ **知識及び技能を日常生活の様々な場面に活用する力の育成**

身近な自然の事物・現象を授業で取り上げ、理科を学ぶことの意義や有用性を実感できるようにするとともに、観察、実験などの体験的な活動を通して、理科の学習で得た知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育成する。

英語

1 出題の特徴

- 日常的な話題に関する対話を聞いて、概要を捉える力、適切に応答する力、必要な情報を聞き取る力をみる問題を出題した。
- 対話文や物語など、まとまりのある文章を読んで、概要や要点を捉える力、目的に応じて必要な情報を読み取る力などをみる問題を出題した。
- コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、伝える内容を整理し、英語で表現する力をみる問題を出題した。

2 結果の概要

- 基本的な表現を用いた短い対話を聞いて理解する力をみる問題はできていたが、必要な情報を聞き取る力をみる問題や、聞き取った内容を基に、会話を継続・発展させる力をみる問題は、いま一步であった。
- まとまりのある文章を読んで、概要や要点を捉える力、目的に応じて必要な情報を読み取る力などをみる問題は、一部に課題もみられたが、おおむねできていた。
- 目的や場面、状況に応じて、伝える内容を整理し、英語で表現する力をみる問題は、必ずしも十分とはいえなかった。

3 課題がみられた問題例

《問題例①》

1 放送によるリスニングテスト

テスト3 (略)

- (2) (中略) 下線部(D)に、場面にふさわしい3語以上の英語を書きなさい。
〈【対話】は一部省略〉

Ms. Jones: You can use it on Friday, but not on the weekend. There will be a brass band concert on both Saturday and Sunday.

Atsushi: OK. I'll check my friend's plans and call you back later. Thank you.

Atsushi: Do you remember the plan to play badminton next week? I called the gym and asked when we could use it.

Mark: Oh, thank you!

Atsushi: _____ (D) _____ ?

Mark: No problem! I'm free on that day.

正答例 Why don't we go on Friday

【解答の状況】

体育館の利用可能日が聞き取れていない解答や、利用可能日は聞き取れていても、相手に提案する表現につなげることができていない解答が多くみられた。

【課題】

日常的な話題について、必要な情報を聞き取ること。また、聞き取った情報を活用して表現したり伝え合ったりすること。

《問題例②》

6 (略) あなたがKenならば、MegとBobに何を伝えるか。電子メールを読むで、にMegとBobに伝えることを書きなさい。ただし、下の【注意】に従って書くこと。〈電子メールは一部省略〉

【MegとBobからの電子メール】

We will stay together for two weeks, so we want to know more about you.
Please tell us about your daily life.

(略)

2. What do you like to do in your free time?

【MegとBobへの返信】

I will answer your questions.

(略)

2.

正答例 I like to play the guitar. I have been practicing it since my mother taught me how to play three years ago. I enjoy playing it before dinner every day.

【解答の状況】

ほとんどがテーマに沿った解答となっており、無答率も低かった。一方で、好きなことの羅列や、同じ表現の繰り返しといった解答もみられ、相手意識をもちながらまとまりのある文章を書くことについては、課題がみられた。

【課題】

目的や場面、状況に応じて、伝える内容を整理し、まとまりのある文章を書くこと。

4 今後の学習指導に向けて

○ **コミュニケーションを支える基本的な表現や文法事項の確実な定着**

実際に言語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの活動を行う際には、それを支える基本的な表現や文法事項について、繰り返し使用する活動を行うなど、相互を効果的に関連付けることで定着を図るようにする。

○ **まとまりのある文章を読んだり聞いたりして、概要や要点を捉える力の育成**

一語一語や一文一文の意味など特定の部分にのみとらわれることなく、書き手や話し手が述べていることの大まかな内容や、最も伝えたいことを捉えることができる力が身に付くようにする。

○ **自分の考えを整理し、まとまりのある内容を伝える力の育成**

事実や自分の考えなどを整理し、よりよく聞き手や読み手に伝わるよう意識しながら、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある内容を話したり書いたりする力を育成する。